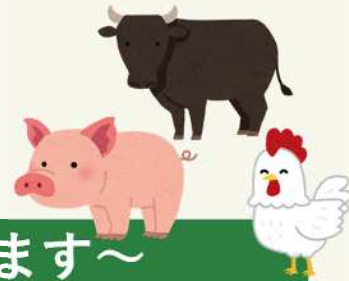


畜産農家
向け大切な家畜を
守るために！

～災害への備えが、家畜の命と経営を守ります～

近年、台風や豪雨、地震などの自然災害が全国各地で発生しています。日頃からの備えが、大切な家畜の命を守り、被害を最小限に抑えることにつながります。

1

情報収集

- ・最新の気象情報をチェックしましょう。
- ・早めの情報収集で、余裕を持った行動をとりましょう。



2

飼料・燃料・飲水などの備蓄

- ・家畜を少なくとも1週間以上飼養できる在庫量を確保しましょう。
- ・河川の増水や土砂崩れの災害リスクも考慮し、分散して保管するなどの工夫をしましょう。

3

非常用電源の確保

- ・停電時への備えを行いましょう。
- ・発電機のメンテナンスや燃料の確保をしましょう。



4

施設の損傷や倒壊、浸水の予防

- ・事前に施設を点検し、必要に応じて補修しましょう。
- ・浸水リスクを考慮して、排水対策や土のうの準備などを行いましょう。



5

飼料作物への対応

- ・天候の状況により、飼料作物の管理や収穫作業、調整法の変更など、臨機応変に対応できるようにしましょう。

6

家畜の避難

- ・家畜を避難させる必要が生じた場合に備え、地域の関係機関（ＪＡ等）や周辺の生産者などと情報共有し、災害発生時に備えておくことが重要です。



7

災害が発生してしまった時の行動

- ・人命第一の観点から、畜舎の見回り等は最新の気象情報や災害状況を確認し、暴風雨が収まってから行うなど、二次被害の防止に努めてください。